



みえ県議会 だより



熊野灘臨海公園（城ノ浜地区）のインフィニティプール（紀北町）

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059 (224) 2877

FAX 059 (229) 1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL https://www.gijiroku.jp/mie/（スマホ版）

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai（Facebook）



行政部門別常任委員会の調査活動

県の各部局を六つの委員会で分担し、議案の審査や所管事項の調査を行っています。
それぞれの委員会で「重点調査項目」を設定して調査活動が動き出しています。

総務地域連携交通常任委員会

行財政の運営、デジタル社会の形成、地域振興の推進、交通政策、スポーツの振興、県南部地域の活性化、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査します。

重点調査項目

【行財政運営】行財政改革取組の進捗状況等について調査します。

【DXの推進】県庁等のデジタル化に向けた取り組みについて調査します。

【地域公共交通の取り組み】持続可能な地域公共交通の確保に向けた取り組みについて調査します。

【スポーツの推進】国民スポーツ大会の在り方を含めたスポーツ推進の取り組みについて調査します。

【地域づくりと移住の促進】市町との連携・協働した地域づくりや移住の促進に向けた取り組みについて調査します。

【南部地域の振興】地域資源を生かした南部地域の振興に向けた取り組みについて調査します。



熊野古道の魅力を発信！ 南部地域の振興

環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査します。

重点調査項目

【ダイバーシティ社会の推進】誰もが希望を持って挑戦し、参画・活躍できるダイバーシティ社会の実現に向けた取り組みについて調査します。

【性犯罪・性暴力を含む犯罪被害者等支援】あらゆる性暴力の根絶をめざして県等の責務や被害者支援の基本的な施策を定める条例の制定に向けた検討状況や、性犯罪・性暴力を含む犯罪被害者等への支援状況について調査します。

【食料の安定供給と食料自給力の向上に向けた取り組み】食料の安定的な供給と食料自給力の向上に向けた取り組みについて調査します。

【農林水産業の担い手の確保・育成】農林水産業の多様な担い手の確保と次代を担う人材の育成について調査します。

【きれいで豊かな海づくりに向けて】「きれいで豊かな海」の実現に向けた取り組みについて調査します。



「全国豊かな海づくり大会」開催に向けて

防災県土整備企業常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業（病院事業を除く）の運営などについて、審査・調査します。

重点調査項目

【能登半島地震を踏まえた防災・減災対策】能登半島地震の被災地支援活動を通じて得られた気づきを踏まえ、南海トラフ地震対策の一層の推進等、県民の命を守る取り組み、災害に負けない強靱な県土づくりについて調査します。

【道路、河川、港湾の整備】道路の整備、交通安全対策、河川の整備、河川堆積土砂の撤去、港湾の整備について調査します。

【建設産業の活性化】建設業の担い手確保、労働環境の改善、生産性の向上、企業の安定経営に向けた対応に関する取り組みについて調査します。

【水道用水・工業用水の安定的な供給】水道施設および工業用水道施設の耐震化・老朽化対策の推進について調査します。



津波避難タワー（志摩市大王町群名）

政策企画雇用経済観光常任委員会

県政の総合企画調整、国際交流、雇用対策、エネルギー政策、産業振興（農林水産業を除く）、観光の振興などについて、審査・調査します。

重点調査項目

【人口減少対策について】県内における人口減少対策について調査します。

【「ゼロエミッションみえ」プロジェクトについて】脱炭素の実現に向けた動きをチャンスと捉え、県内の産業・経済の発展につなげる取り組みについて調査します。

【観光振興について】質が高く、持続可能な観光地づくり、戦略的な観光誘客の推進、魅力的な観光産業の確立に向けた取り組みについて調査します。

【産業振興について】県内企業の競争力を維持・強化させる産業振興の取り組みについて調査します。

【大阪・関西万博に向けた取り組みの推進について】大阪・関西万博開催の好機を捉えた、本県の認知度向上および観光誘客につなげるための取り組みについて調査します。



万博の好機を捉えた三重の魅力発信！

医療保健子ども福祉病院常任委員会

医療・介護行政の推進、保健衛生行政の推進、子ども・青少年の育成、社会福祉・社会保障の推進、病院事業の運営などについて、審査・調査します。

重点調査項目

【医療・介護の人材確保と働き方改革について】医療や介護人材確保の取り組みや処遇改善など働き方改革に向けた取り組みについて調査します。

【がん・糖尿病等生活習慣病の医療・介護連携について】がんや糖尿病などの生活習慣病を患っても安心して暮らし続けることのできる医療・介護分野の連携について調査します。

【妊娠・出産における医療・福祉体制の整備について】妊娠・出産に関する切れ目のない支援の取り組みについて調査します。

【子どもの命と権利を守る取り組みについて】虐待を防ぐための取り組みなど子どもの命と権利を守る取り組みについて調査します。

【共生社会の実現について】ひきこもり状態にある方や認知症を抱える方などが安心して暮らせる地域づくりについて調査します。



子どもの活動を支援します！

教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織・運営などについて、審査・調査します。

重点調査項目

【教員不足について】教員採用選考試験における受験者が減少するなど、教員の人材確保に苦慮していることから、教員不足について調査します。

【少人数学級の成果について（適正規模）】児童生徒一人ひとりの実態に応じ、きめ細かく行き届いた支援の充実を図るため、少人数学級の成果について調査します。

【県立高等学校の活性化について】県内中学校卒業生の減少が見込まれることから、子どもたちにとって魅力ある県立高等学校の在り方などについて調査します。

【SNS等に起因する犯罪対策について】SNS等に起因する犯罪の認知件数が増加していることから、その対策について調査します。

【警察官の働き方改革について】警察官が働きやすい職場環境づくりについて調査します。



高校生みえ創造サミット

一般質問



**予算確保を含めた
道路施設の維持管理**

青木 謙順 議員 自由民主党/津市選出



問

人件費や材料費の高騰が続くなか、道路施設の安全・安心を確保するためには、維持管理のための予算確保や、効率的・効果的な管理の推進が必要です。老朽化する道路施設の維持管理について、予算の確保も含め、どのように進めていくのかお聞かせください。

答

県では、道路施設の損傷後に修繕する「事後保全型」の維持管理から、損傷が進む前に計画的に修繕する「予防保全型」の維持管理への転換を図り、トータルコストの抑制に努めています。

今後も、国の予算を最大限活用するとともに県単独事業の予算も確保しながら、地域の事情などに応じて安全・安心な道路環境を確保するため、効率的・効果的に維持管理を推進します。

その他の質問事項

- 「ONSEN」を共通語として世界に発信することが、観光成長戦略となる
- 農業の振興は、新しい発想で未来につなぐ



大阪・関西万博への子ども招待

吉田 紋華 議員 日本共産党/津市選出



問

県は、小・中・高の児童生徒の校外学習等の支援として、大阪・関西万博のチケット代を補助する事業を実施しますが、万博会場ではメタンガスによる爆発のリスクが指摘されています。教育委員会として、安全面での課題が指摘されていることについて、どのように考えているかを伺います。

答

大阪・関西万博を校外学習等で訪れることは、子どもたちの視野をグローバルなものとするなど、体験活動の一つとしても有意義であると考えています。安全面については、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会において対策が講じられると聞いていますので、訪問する各学校においては、協会の対策を踏まえ、安全に万全を期して参加されるものと認識しています。

今後とも、安全対策の徹底状況を注視し、適時適切な対応に留意します。

その他の質問事項

- 学校性教育の現状と、包括的性教育の観点での生理用品の使い方の児童への指導
- みえの縁むすびマッチング事業の令和5年度の成果と今後の事業の在り方について



UIJターン

龍神 啓介 議員 自由民主党/津市選出



問

昨年度の「みえ現場de県議会」の参加者の若者から、就職の際に情報を探するために県のサイトを利用したが分かりづらかったとの声がありました。三重県に戻りたいと考えている方に寄り添うために、情報の一元化や網羅性を意識したサービスが必要だと考えますがいかがですか。

答

令和6年4月から、県の就職支援情報を一元的に把握できるポータルサイト「みえの仕事さがしチャンネル」の運用を開始し、県内の企業情報や求人、インターンシップ情報、県内で働き活躍する方へのインタビュー記事や就職支援イベントの動画などを掲載しています。

今後も、使い勝手の良さなどの観点から改善を行うとともに、あらゆる機会を通じてサイトの周知に努めます。

その他の質問事項

- 情報通信産業誘致について
- 学校のデジタル活用について ほか



カスタマーハラスメント対策

平畑 武 議員 新政みえ/鈴鹿市選出



問

人格を否定する暴言や、土下座による謝罪の要求、威嚇・居座り等、明らかに一般常識を超えたカスタマーハラスメントは深刻な問題です。国で法改正等を含めた議論が進められているなか、県は今後どのように対策を進めるのか、知事の意気込みを伺います。

答

物を買う人も買う人も平等であるはずが、お客様は神様であるという風潮が広まってしまっており、子どもたちの将来のためにも、このような社会を変えていく必要があると考えています。

県では、知事をトップとする「推進本部」を設置するとともに、有識者等を構成員とする「懇話会」を設置し、条例制定の検討も含め、三重県が住みやすい場所となるよう対応していきます。

その他の質問事項

- 子ども医療費補助金の対象年齢の引上げについて
- 教員を目指す若者の確保について ほか



エスコートゾーンの設置

長田 隆尚 議員 草莽/亀山市選出



問

県内では、歩道の点字ブロックはよく見かけますが、視覚障がい者が横断歩道を利用する際に手掛かりとするエスコートゾーンはあまり見かけません。県内のエスコートゾーン設置の方針と状況について、また、どこが主体となり設置していくかをお聞かせください。

答

エスコートゾーンは警察または道路管理者が設置しており、警察庁で定められた設置指針に示される、視覚障がい者の利用頻度が高い施設周辺の横断歩道などは、警察が主体となって令和3年度までに県内28カ所55本を整備しました。

引き続き、視覚障がい者の方の利用頻度や意見・要望を踏まえつつ、警察と道路管理者が連携して設置を進めます。

その他の質問事項

- リニア中央新幹線の開業に向けて
- 関西本線の利用促進について ほか



若者の人口流出対策

下野 幸助 議員 新政みえ/鈴鹿市選出



問

三重県の人口減少は、2023年で年間2万人規模となり厳しい状況です。社会減少数の約8割を15歳から29歳の若者が占めており、その数は2023年の実績で4,595人です。

10年以上続くこの傾向について、要因と対策をお聞かせください。

答

進学で県外に流出した人が、企業が多い土地で就職をして三重県に戻ってこないということが要因の一つであると考えています。

これを解決するために、三重県から出ていく若者に向けてLINEを通じた就職情報等の発信をしていくとともに、三重県に多くの企業、特にその本社が来ていただくため、今後、知事会議で、東京に一極集中している企業を地方に分散させることについて議論していきたいと考えています。

その他の質問事項

- 南海トラフ大地震、集中豪雨等大災害に向けた取り組みについて
- 令和17年国民スポーツ大会 三重県開催に向けて ほか

一般質問



国難に立ち向かえ！ 人口減少社会の現状と課題

山本 教和 議員 自由民主党/志摩市選出



問 令和6年5月に宮崎県で開催された「将来世代応援知事同盟サミット」において出された緊急アピールは力強い声明でした。このサミットにおいて、東京一極を是正し地方へ企業や人を分散させる重要性などを提案した、知事の思いをお聞かせください。

答 人口減少の課題は、出生率の低い東京に人口が集中している点にあります。このことからサミットにおいて、企業の地方移転のための仕組みを作ることと、国を挙げて人口問題を議論するために、司令塔となる担当大臣等を配置することの2点を三重県から提案しました。地方から国を動かしていかないと、この国は沈没してしまうという思いで、今後も知事会議で議論し、国に働きかけます。

その他の質問事項

- しろちどりとパラオ
- 県内産業の振興について ほか



南部地域活性化基金の問題点と見直し

村林 聡 議員 自由民主党/度会郡選出



問 南部地域活性化基金は、複数の市町が連携して行う人口流出対策を支援するものですが、市町からは上限300万円、最長3年間では効果が見込めないとの声が上がっています。人口減少は待ったなしの課題であり、市町の声を受けて問題点を速やかに見直すべきと考えますがいかがですか。

答 地域の方々の声に寄り添い、南部の皆さんが希望を持てる制度となるのが大切だと考えています。事業効果を最大限に発揮するためにはどのような制度であるべきかという観点から、市町の意見に耳を傾けながら、適時適切な見直しについてしっかりと議論し検討していきます。

その他の質問事項

- 宮川の流量回復
- 長期的な視点での藻場再生 ほか



大規模災害時の救助機関の連携

野村 保夫 議員 自由民主党/伊勢市・鳥羽市選出



問 大規模災害の発生時に一人でも多くの命を救うためには、さまざまな機関と連携して、ヘリコプターを円滑かつ適切に運用することが重要です。県における大規模災害発生時のヘリコプターの運用調整の体制と、自衛隊との連携強化の取り組みについて、お聞かせください。

答 大規模災害で県が被災した際には、県災害対策本部に航空運用調整担当を設置し、ヘリコプターが飛行する空域や役割分担等を調整します。自衛隊等の関係機関とは、実働訓練を実施するとともに、図上訓練で役割分担を確認するなど、連携を強化しています。今後も、実効性のある訓練を重ね、関係機関との連携を一層強化することで、災害対策活動を円滑かつ確実に実施できるよう取り組みます。

その他の質問事項

- 観光振興について
- 伊勢志摩連絡道路の今後について ほか



「三重県認知症高齢者SOSネットワーク」

中瀬古 初美 議員 新政みえ/松阪市選出



問 県は、各市町が運用する「認知症高齢者等SOSネットワーク」の実態をしっかりと把握できているのでしょうか。SOSネットワークが整備されるとともに、それが機能していることが重要です。県内の認知症高齢者等SOSネットワークにおける県の役割や課題、今後の展開について伺います。

答 SOSネットワークが適切かつ効果的に運用されるよう、市町担当課が出席する「認知症市町連絡会」に本年度は三重県警察にも参画を依頼したうえ、改めてSOSネットワーク等の役割について周知・確認等を行います。今後は、各市町における認知症高齢者等の行方不明の実態や取組状況などについても把握するとともに、好事例の横展開を行い、早期発見・保護のための体制の充実に努めます。

その他の質問事項

- 「ごみゼロマインド！」をプラスチックごみ対策に！
- 障がい者の就労支援について ほか



差別を解消し、真に人権が尊重される三重県に！目指したい三重県の姿とは？

小島 智子 議員 新政みえ/桑名市・桑名郡選出



問 昨年、公立学校の教員が土地を購入した後に、その土地が被差別部落であることを理由に契約解除を要求した事案は、重大な部落差別事案です。このことに対する知事の認識、人権尊重の視点に立って県が目指すべき姿と、その実現に向けた知事の決意をお聞かせください。

答 高い人権意識を持って差別解消に向け積極的な役割を果たす責務がある県の公務員である教員による今回の差別行為は、決して許されるものではなく、非常に重く受け止めています。三重県から1日も早く差別をなくすため、全ての公務員が今回の差別行為を重く受け止め、高い人権意識を持って差別解消に向け積極的な役割を果たす責務があることの重みを感じるよう取り組みます。

その他の質問事項

- 「ライドシェア」ってなに？
- 三重県とパラオ共和国との友好交流推進について



スペインとの交流の推進

藤田 宜三 議員 新政みえ/鈴鹿市選出



問 先日、スペインのバレンシア州を訪問し、さまざまな場所で調査を行うとともに、州政府との交流を深めてきました。州政府の首相からは三重県を訪れることについて前向きな声も聞かれましたので、これを機にスペインとの交流の充実を図ってはいかがでしょうか。知事の考えを伺います。

答 昨年5月にスペインのバスク自治州を訪問し、企業誘致をはじめとする産業や、食や観光面での連携を促進しました。本年7月には、熊野古道世界遺産登録20周年を記念して、バスク自治州から巡礼道の関係者等にお越しいただき、世界遺産を共同でアピールする予定です。国際交流については、観光誘客や投資誘致など三重県にとってのメリットを戦略的に考えつつ、丁寧に議論しながら対応していきます。

その他の質問事項

- カシノナガキクイムシの被害状況調査とその対策について
- 農業振興について

特別委員会の活動を紹介

令和6年5月に二つの特別委員会を設置して調査・検討を進めています。

伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会

伊勢茶の振興に関する条例の策定に向け、調査・検討を行います。

調査の概要

伊勢茶の振興に関する条例案(仮称)の策定に向け、伊勢茶の活用の状況、伊勢茶のブランド化の推進、伊勢茶の振興策、お茶を通じた食育の推進など伊勢茶の消費の拡大に関する調査とともに、他自治体におけるお茶の振興に関する条例、施策などに関する調査を行っています。

5月29日に開催した委員会では、委員会の活動計画について協議しました。6月25日に開催した委員会では、農林水産部から、伊勢茶振興計画の概要や伊勢茶の県内での消費拡大に向けた取り組みなどについて聴き取りを行いました。



伊勢茶の「深蒸し煎茶」と「かぶせ茶」を試飲

ワンヘルス推進調査特別委員会

ワンヘルス(人の健康、動物の健康、環境の健全性を一つの健康と捉え、一体的に守っていく考え方)の推進について調査を行っています。5月29日に開催した委員会では、委員会の活動計画について協議しました。6月10日に開催した委員会では、三重県獣医師会会長を参考人招致し、ワンヘルスの歩みや考え方などについて聴き取りを行いました。6月25日に開催した委員会では、東京大学大学院農学生命科学研究科の芳賀猛教授をオンラインで参考人招致し、動物の感染症ならびにそのインパクトなどについて聴き取りを行いました。

重点調査項目

【人獣共通感染症対策】新型コロナウイルス感染症、新型インフルエンザ、鳥インフルエンザ、狂犬病、牛海綿状脳症(BSE)、MERS、SARSなど、人と動物に共通の疾病・感染症である人獣共通感染症対策について調査します。

【人と動物の共生社会づくり】ペットの適切な飼養、災害発生時のペットの扱い、猫のTNR活動や法的な管理、人と野生動物との適正なすみ分け・共存等について調査します。

審議結果と主な開催実績(6月定例会会議)

審議結果

議員別の賛否等の状況
(PDFファイル)



可決した議案

予算

○ 令和6年度三重県一般会計補正予算(第1号)

条例

○ 大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案 ほか9件

その他議案

○ 国営中勢用水土地改良事業に係る償還に対する市町の負担について ほか5件

人事案件(同意)

○ 公安委員会委員の選任につき同意を得るについて ほか1件

不採択とした請願

○ 現行健康保険証の存続期間の延期を求めることについて
○ 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求めることについて

可決した意見書案

○ 訪問介護の基本報酬をはじめとした介護報酬の引上げを求める意見書案

- 地方財政の充実及び強化を求める意見書案
- 北朝鮮による拉致被害者の早急な全員即時一括帰国を求める意見書案
- 合成香料に起因する健康被害(香害)対策の推進を求める意見書案
- 聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書案

否決した意見書案

○ 健康保険証の存続期間の延長を求める意見書案

可決した決議案

○ 第89回国民スポーツ大会及び第34回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議案

主な開催実績

6月

- 3日 本会議
議案17件上程
- 6日 本会議
議案に関する質疑(4人)
予算決算常任委員会
予算決算常任委員会運営要領の改正について
ワンヘルス推進調査特別委員会
活動計画書について、参考人の出席要求について

- 10日 本会議
一般質問(5人)
ワンヘルス推進調査特別委員会
参考人からの意見聴取について、参考人の出席要求について
- 12日 本会議
一般質問(4人)
- 14日 本会議
一般質問(4人)
- 18日~21日
各常任委員会・分科会
議案の審査、所管事項の調査 ほか
- 25日 伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会
執行部からの聴取について ほか
ワンヘルス推進調査特別委員会
参考人からの意見聴取について ほか
- 26日 予算決算常任委員会
議案の審査、所管事項の調査
本会議
委員会付託
防災県土整備企業常任委員会
議案の審査
- 28日 本会議
議案17件可決、請願2件不採択、意見書案6件上程・5件可決・1件否決、決議案1件上程・可決、人事同意議案2件上程・同意

8月21日に「みえ高校生県議会」を開催します!

開催日 令和6年8月21日(水) 場所 三重県議会議事堂 議事堂
11時40分~16時25分 内容 高校生が質問し、県議会議員が答えます。

参加校

津田学園高校	四日市高校	セントヨゼフ女子学園高校
津西高校	津高校	みえ夢学園高校
津工業高校	相可高校	伊勢高校
名張高校	紀南高校	計11校

ネット中継

三重県議会ホームページの「議会中継」からご覧ください。



傍聴

11時10分から受付を開始します。議事堂1階の傍聴者用エレベーターで6階の傍聴受付へお越しください。

用語解説(2~3ページの「一般質問」に関するもの)

① エスコートゾーン

視覚障がい者が道路を横断する際に横断歩道から外れることなく道路を横断できるように手掛かりとする、横断歩道の中央部に設置された点状の突起の列のことです。



エスコートゾーン

② 認知症高齢者等SOSネットワーク

認知症高齢者等が行方不明となった際に早期発見・保護等を行うための仕組みとして、厚生労働省通知に基づき、市町が実施主体となり運用されています。行方不明の高齢者等が発生した場合、捜索届を受けた警察もしくはご家族等から市町を通じて関係機関にも情報が共有され、早期発見につなげるものです。

③ ライドシェア

日本では、「自治体ライドシェア」と呼ばれる「自家用有償旅客運送」と、「日本版ライドシェア」と呼ばれる「自家用車活用事業」の二つが特例的に認められています。令和6年4月に新しく制度化された「自家用車活用事業」は、タクシーの供給量が不足している都市部や地方の観光地の一部などにおいて、タクシー事業者が運行主体となり、第二種運転免許を保有しないドライバーを雇用して、有償で輸送サービスを提供するものです。